

# あおもり

## CONTENTS | 目次

### 特集

- ・基本計画の総仕上げに向けた戦略プロジェクトの充実・強化 ▶P2-3
- ・平成29年度一般会計当初予算 ▶P4
- ・地域県民局の取組 ▶P5

旬を食べよう。あおもり野菜で簡単ヘルシークッキング/  
青森きりりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶P6

青森空港増便のお知らせ／「あおもり立志挑戦塾」第10期生を募集します/  
統計調査にご協力をー平成29年度に実施する主な統計調査のご紹介ー ▶P7

申吾のほっとコラム／あおもりインフォメーション ▶P8

独自の技術で世界をリード  
青森発のモノづくり

八戸市の「エプソンアトミックス株式会社」は、金属粉末、金属射出成形※1部品などの開発・製造・販売を行っている企業です。

金属粉末部門では、数マイクロメートル※2の超微細な合金粉末を安定的に量産できる独自の製造技術を持つことなどから、製造された金属粉末は世界シェアトップクラスを誇り、販売先の企業では、高精度で大重量部品の供給が安定して求められる自動車エンジン、医療機器などの部品の材料として使用されています。

特に、平成16年、SWAPP法と呼ばれる独自の製法で量産化に成功したアモルファス合金粉末は、電圧制御部品の低消費電力・小型化、高周波・大電流対応など性能を向上させる高機能材料の金属粉末として、世界のモノづくり産業に革新をもたらしました。

それは、例えば私たちの身近にあるスマートフォンを、より小さくより軽くし、さらにバッテリー駆動時間を長くすることに貢献するなど、見えないところで世界に流通する製品作りに関わっています。

また、金属射出成形部品部門では、自社で製造した金属粉末を原料に、写真にあるようなプリンター部品や、配管（継手）などの高密度で複雑な形状の金属部品を製造しています。

アモルファス合金粉末の量産技術で世界トップクラスの企業として、世界から高い評価を受ける同社ですが、実は270人ほどいる社員の9割以上は県内の高校・大学出身者。青森県民の実直さと粘り強い気質が、高い技術力と製品を生み出し、世界から称賛される最先端テクノロジーの未来を支えています。

※1 チタン・ステンレスなどの難加工材を使用した、複雑形状の製品を大量に生産することができる高精度な金属加工方法の一種。 ※2 1マイクロメートルは、1ミリの1000分の1。

▼関連記事はP6で





# 重要課題に集中チャレンジ「人幸増加」への道を切り拓く

平成26年度にスタートした「青森県基本計画 未来を変える挑戦」は、いよいよ4年目に入ります。

これまでの取組により、県の観光入込客数は大幅に増加し、また、農業産出額が12年連続で東北1位を記録しているほか、合計特殊出生率が上昇傾向にあるなど、各分野で着実に成果が現れてきていますが、人口減少の克服や健康長寿県の実現など、大きな課題の解決のためには、今後も果敢に取組を進めていかなければなりません。

このため、平成29年度は、「人口減少克服」「健康長寿県」「食でとことん」の3つの戦略プロジェクトの取組を充実・強化させ、北海道新幹線開業効果や県産品のブランド価値向上・販路拡大等による県内経済のさらなる成長、人口の社会減に歯止めをかけるための若者や女性の県内定着の促進、そして団塊の世代がすべて75歳以上を迎える西暦2025年の超高齢化時代到来への対応など、集中的に対策を講じ、一歩ずつ「人幸増加」への道を切り拓いていきます。

このため、平成29年度は、「人口減少克服」「健康長寿県」「食でとことん」の3つの戦略プロジェクトの取組を充実・強化させ、北海道新幹線開業効果や県産品のブランド価値向上・販路拡大等による県内経済のさらなる成長、人口の社会減に歯止めをかけるための若者や女性の県内定着の促進、そして団塊の世代がすべて75歳以上を迎える西暦2025年の超高齢化時代到来への対応など、集中的に対策を講じ、一歩ずつ「人幸増加」への道を切り拓いていきます。



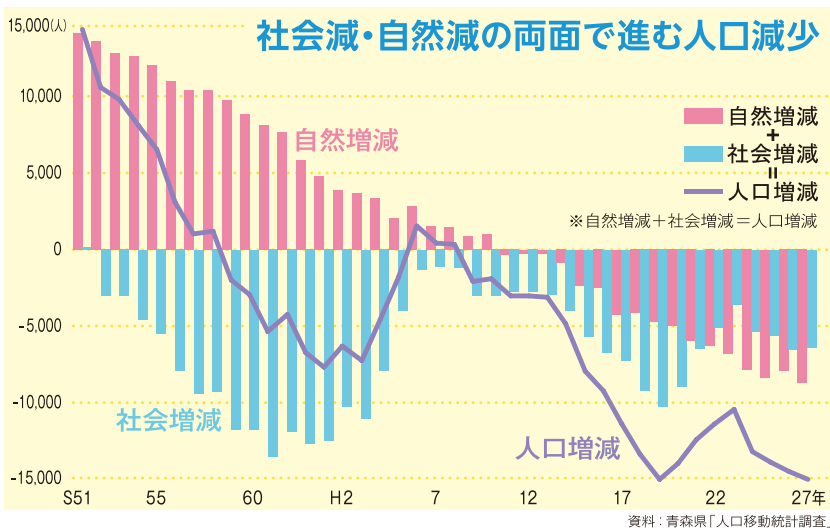
## 多様な人財が支え合う活気あふれる地域へ

地域の経済と生活機能を維持する仕組みをつくるため、農山漁村における「地域経営」のレベルアップを図るほか、住民主体の地域づくりや持続可能な交通ネットワークの構築、地域産業を支える事業者等の経営基盤の強化などに取り組みます。

また、人口増加につなげる取組として、特に、若者、女性などの県内定着や県外からの還流促進に重点的に取り組むこととし、高校生や大学生等については関係者の相互理解の促進や、

インターンシップの実施などを通じた県内就職率の向上を図り、女性については仕事と子育ての両立やキャリア形成などを地域全体で応援する仕組みをつくっていきます。

このほか、北海道道南地域との連携の活発化や、発展著しいアジア地域との交流の輪の広がりなど、さまざまな好機を捉えて、交流人口の拡大を促進し、青森県のさらなる成長につなげていきます。



これまでの成果

農山漁村における「地域経営」の広がり  
【地域経営体数】H25(年度): 202 → H27(年度): 231

移住相談件数の増加  
H26(年度): 79件 → H28(年度): 468件  
(H28.12月末現在)

国内外からの観光入込客数の増加  
【外国人延べ宿泊者数】H25: 57,130人 → H28: 145,370人  
(速報値)

合計特殊出生率が上向き  
H25: 1.40 → H27: 1.43

## 人口減少克服プロジェクト / 87事業 10.7億円

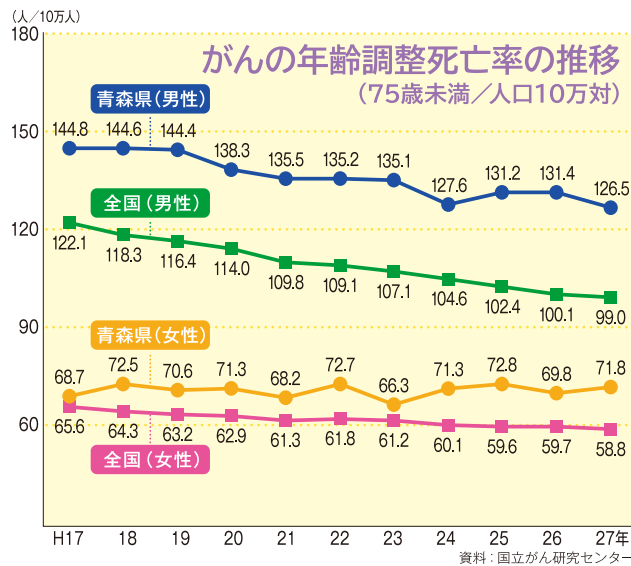
- 1 持続可能な地域をつくる 24事業 2.1億円**
  - 農山漁村「地域経営」担い手育成システム確立推進事業
  - 次世代の人づくりスタートアップ事業 など
- 2 人口増加につなげる移住・定住促進 30事業 3.6億円**
  - まるごとあおもりUIターン雇用支援事業
  - 高校と県内企業の連携ネットワーク強化事業 など
- 3 交流人口を増やす仕組みをつくる 26事業 4.1億円**
  - 青函周遊観光定着化推進事業
  - 青森県・済州特別自治道交流推進関連事業 など
- 4 子どもを産み育てやすい環境をつくる 7事業 0.9億円**
  - 結婚から子育て応援企業支援事業
  - 魅力ある保育所等促進事業 など



## 誰もが健やかに、安心して暮らせる地域へ

健康づくりに積極的に取り組む企業等を増やし、働き盛り世代のがんをはじめとした生活習慣病等による死亡率改善を図るほか、むし歯保有率の低下、妊産婦及び同居者の禁煙促進、食生活の改善、運動習慣の定着など、県民の皆様の健康意識改革に向けて、普及啓発を強力に進めていきます。

また、2025年の超高齢化時代を見据え、ICTを活用した遠隔医療モデルの構築、介護予防や生活支援サービスの多様な担い手確保など、保健・医療・福祉体制の充実を図ります。



### これまでの成果

保健・医療・福祉  
包括ケアシステムの着実な普及

「だし活」「あおもり食命人」の展開  
【できるだけ商品出荷数増加】H27:51,886個→H28:81,141個

ライフイノベーション戦略の展開  
【医療機器生産額増加】H22:338億円→H26:512億円

プロテオグリカン関連累計出荷額  
H23(年度末時点):6億円→H27(年度末時点):108億円

## 健康長寿県プロジェクト / 30事業 3.5億円

### 1 みんなで目指す「健やか力」の向上 22事業 1.6億円

- ・あおもり型健康経営スタートアップ事業
- ・県民の食育実践向上事業
- ・スポーツでいきいき!生涯健康力アップ事業 など

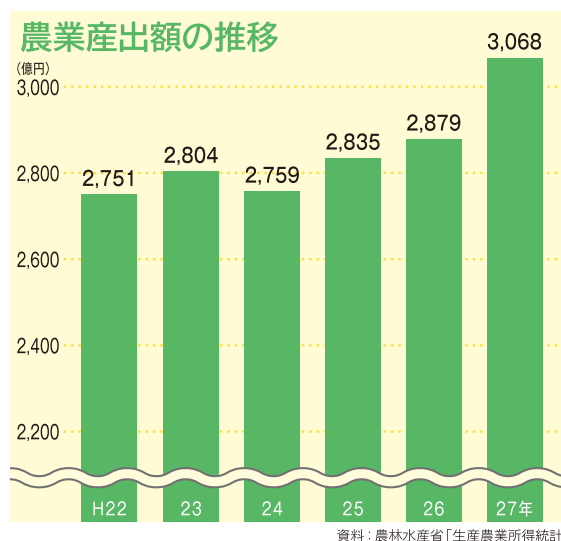
### 2 保健・医療・福祉体制の充実 8事業 1.9億円

- ・新しい「地域を支える医療システム」構築特別対策事業
- ・生活支援サービス充実強化事業
- ・青森ライフイノベーション戦略セカンドステージ推進事業 など



## 強みに磨きをかけて、さらなる成長産業へ

「攻めの農林水産業」の推進により、農林水産物の生産・販売等は好調ですが、経済のグローバル化や産地間競争の激化、農業者の高齢化や労働力不足といった課題も踏まえ、「青天の霹靂」のブランド確立に向けた各種プロモーションの積極展開や、おうとう新品種「ジュノハート」のデビュー対策、「A! Premium」を活用した販路開拓や輸出拡大のほか、生産性の向上や若手農業者等の育成などに取り組み、農林水産業のさらなる成長産業化を図ります。



### これまでの成果

農業産出額が19年ぶりに3千億円を突破  
【農業産出額】H25:2,835億円→H27:3,068億円

「青天の霹靂」をはじめとする  
農林水産品のブランド化の進展

「A! Premium」の活用による販路拡大  
【利用貨物個数】H27(年度):3,532個 ※H27(年度)目標:1,000個

りんご・ほたてなど農林水産品輸出量・額の増加  
【国産りんご輸出量】H25(年産):19,886t→H27(年産):36,304t ※過去最高

## 食でとことんプロジェクト / 42事業 4.7億円

### 1 食の生産力・商品力を極める 25事業 2.5億円

- ・労働力不足に対応した機械化農業推進事業
- ・あおもり米「青天の霹靂」ブランド確立推進事業 など

### 2 食の販売力を極める 11事業 1.9億円

- ・青森発!新流通サービス「A! Premium」活用促進事業 など

### 3 食をとことん極めるための基盤づくり 6事業 0.3億円

- ・健康な土づくりレベルアップ事業 など





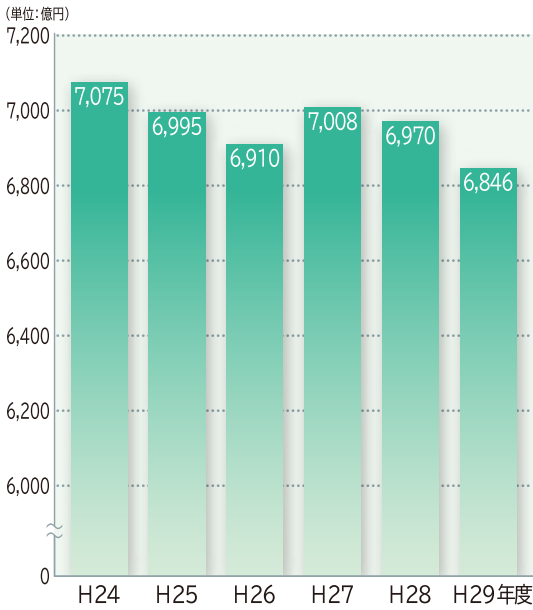
# 平成29年度一般会計当初予算は6,846億円

(対前年度比1.8%減)

「青森県行財政改革大綱」に基づく財政健全化努力を継続しつつ、「青森県基本計画 未来を変える挑戦」及び「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」に基づき、各種施策を中長期的な視点で積極果敢に展開することとしました。

一般会計の当初予算額は、当然減となった貸付金に加え、これまでの行財政改革効果による人件費、公債費の減を除けば、前年度を上回る規模となっています。

## 当初予算額の推移



## 財政健全化に向けた取組

「青森県行財政改革大綱」などに基づいて、財源不足額(基金取崩額)の解消及び県債発行総額の抑制に努めました。

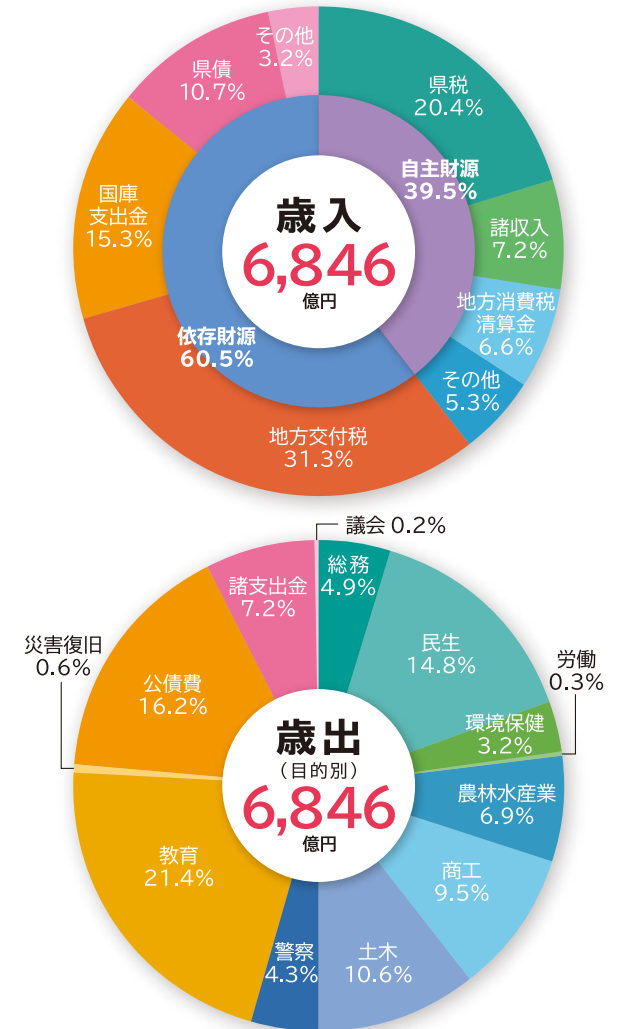
- 県の貯金である基金の取崩額はゼロ(前年度8億円)となり、収支均衡を実現
- 県の借金である県債の発行総額を抑制し、県債残高はH29年度末で1兆1,625億円となる見込み(H28年度末見込対比259億円の減)

## 用語の解説

- **一般会計**  
県の会計の中心となる会計。行政運営の基本的な経費全般。
- **地方交付税**  
所得税、法人税、酒税及び消費税の一定割合並びに地方法人税の全額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付する税。使いみちは各団体が自由に決められる。
- **国庫支出金**  
特定の事業を行うために国から交付される負担金、補助金及び委託金。
- **県債**  
県の長期借入金。原則として、道路や学校などの公共施設の整備に必要な資金に充てられる。
- **公債費**  
過去に借り入れた県債の元金の返済や利子の支払いなどの経費。

【問い合わせ先】財政課 ☎017-734-9036

## 平成29年度一般会計当初予算



基本計画に基づき  
順調に成果が上がっています！

今年度で4年目を迎える「青森県基本計画 未来を変える挑戦」ですが、おおむね順調に成果を上げているという手ごたえを感じています。なかでも、3つの戦略プロジェクトのうち、「食でとことんプロジェクト」においては、平成27年度の農業産出額が19年ぶりに3千億円を突破。また、「青天の霹靂」の販売戦略においても、知事のトップセールス、メディアプロモーションなど官民挙げての取組が功を奏し、全国から高い注目が集まりました。「青天の霹靂」がけん引役となり、「青森のお米はおいしい」というイメージが全国に広がり、既存の青森米の売れ行きも伸びています。県が全国に先駆けて取り組んできた「攻めの農林水産業」をベースに、「買ってもらえる商品づくりに」尽力したことで青森の農産物の知名度アップにつながったと思います。



県返上に向けたさまざまな取組により、徐々に平均寿命も延びています。「だし活」など、本県ならではの食を生かした健康づくりも展開中で、今後も県民一人ひとりが自分の健康に対する高い意識を持つて取り組んでいくことが大切です。「人口減少克服プロジェクト」ですが、本県の人口は減っているものの減り方がなだらかになっています。これは基本計画をもとに施策を展開し、県民全員でがんばってきたことの現れではないでしょうか。しかしながら、依然として20代・30代の若い世代が県外に流出していることは大きな課題です。ここ数年、国内外からの観光入込客数が増えていることから、これを大きなチャンスと捉え、移住・定住を促進していかねばなりません。そのためには、県・市町村・民間企業が一緒になって、産業基盤の量的な拡大と質的な充実を図っていく必要があります。



【インタビュー】  
青森県総合計画審議会 会長  
青森大学名誉教授  
末永 洋一 さん

「健康長寿プロジェクト」では、短命

## 4月の特集関連番組 放送予定

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	4月23日(日) 17:00~17:15
青森朝日放送	メッセージ	4月1日(土) 9:30~9:35 4月15日(土) 9:30~9:35

特集ページ  
問い合わせ先

P.2~4 基本計画関連 企画調整課 ☎017-734-9128

P.5 地域県民局の取組

- 東青地域県民局地域連携部 ☎017-734-9412
- 中南地域県民局地域連携部 ☎0172-32-2407
- 三八地域県民局地域連携部 ☎0178-27-3936
- 西北地域県民局地域農林水産部 ☎0173-35-5719
- 上北地域県民局地域農林水産部 ☎0176-23-4281
- 下北地域県民局地域整備部 ☎0175-22-1231



# 地域の魅力を生かした多様な取組

県内の6地域県民局でも、地域の強みをとことん伸ばし、課題をチャンスと捉え、人口減少克服など、多様な取組にチャレンジしていきます。

**冬季観光の育成と  
住民おすすめ  
観光資源のPR**  
[東青地域県民局]

東青地域では、北海道新幹線の開業効果の持続的獲得に向けて、通年で観光客を呼び込むため、冬季観光コンテンツの磨き上げやリピーターの獲得が課題となっています。

そこで、首都圏在住者など雪とのふれあいが少ないエリアの住民をターゲットとした冬季体験メニューを造成し、地域住民も一緒に楽しめるコンテンツの確立を目指します。

また、地域住民しか知らない四季折々の「今だけ」「こっだけ」の特別素材をつないだモデルコースの開発と、効果的な情報発信により、何度でも訪れたいくなる観光地づくりに取り組みます。



中南地域においても、人口減少や少子化・高齢化が進み、若年層の地元定着、移住・交流や少子化対策などが課題となっています。

そこで、若年層の定着に向け、工業高校での企業説明や意見交換、企業への訪問等を実施し、「対話」による高校生と地元企業の相互理解を促進するほか、移住・交流の促進に向けた管内市町村や地域づくり団体との「協働」による課題と可能性の検討、少子化対策では、弘前圏域定住自立圏で共同実施する婚活支援拠点の設置やイベント開催への支援など、広域的な「連携」やスキルメリットを生かした地域の取組をサポートします。

**中南の地域創生  
人口減少克服へ  
対話・協働・連携**  
[中南地域県民局]

**三八地域を  
ワンパッケージで  
情報発信**  
[三八地域県民局]

八戸圏域連携中枢都市圏などの市町村の枠を越えた広域での観光振興に向けた気運が高まっていることを受け、三八地域を「テーマ性を持たせた一つのパッケージ」として情報発信していくこととしています。

具体的には、一体としてPRしていく管内の意識形成に向け、市町村長や行政の幹部職員、民間事業者等を対象とした広域観光フォーラムを開催するほか、テーマ別広域観光パンフレットを活用したセールス活動、身近な三沢基地や日本企業で働いている外国人と連携した取組等、三八地域の魅力をパッケージ化して世界に情報発信していきます。



経営耕地面積の8割を水田が占める西北地域においては、県外での業務用米としての評価向上はもちろんのこと、新たな需要獲得に取り組む農業者の育成や、生産コスト削減による収益確保が課題となっています。

そこで、多様化する業務用米市場における「西北米」の競争力を強化するため、認証GAP取得などワンランク上の米生産にチャレンジする生産者のスキルアップを支援するほか、大規模稲作経営の多い西北地域の強みを生かした低コスト技術の組み立てや農業用ドローンの実用性の検証など、低コスト生産による収益の向上を目指していきます。

**強みを活かした  
「西北の米」の  
競争力強化**  
[西北地域県民局]

**かみきた  
女性らく楽  
農作業サポート**  
[上北地域県民局]

上北地域の野菜生産は機械化が進んでいますが、機械化した農作業を補助する女性の負担は大きくなり、女性農業者の約8割が腰痛等に悩んでいます。また、補助する人の確保も年々難しくなっているなど、産地の維持・発展のためには、農作業の軽労化や労働力確保が課題となっています。

そこで、女性の農作業負担を軽減するため、補助作業着の作業性の検証を行い、普及を図ります。また、大学生が農作業に参加するモデルに取り組むほか、SNSを使って積極的な情報発信などを行い若い世代に地域や農業の魅力を伝えていく予定です。



建設産業は社会資本を整備・維持管理していくうえで、社会になくならない産業です。特に、下北地域では、下北半島縦貫道路・原発避難路といった、大規模な建設・整備が必要であり、高齢化する現在の建設産業従事者から、下北地域の未来を担う若者へと技術や技能を継承していくことが必要です。

そこで、小・中学生向けの建設現場見学会や、高校生向けの建設産業従事者との意見交換会等を実施し、下北地域の地域資源と建設産業の役割について理解を深め、若年層の地元建設産業への入職を図ることを通じて、若者の地元定着を促進していきます。

**建設産業の  
担い手確保を  
プロデュース**  
[下北地域県民局]



# 旬を食べよう。

## あおもり野菜で 簡単ヘルシークッキング

冬春いちご 編



9月初めにハウスに定植し、11月頃～5月頃まで出荷を繰り返します。有機肥料での土作りにこだわり、冬場は病害虫の被害が少ないので農薬もほとんど必要ありません。他に「ふちのか」「紅ほっぺ」などの品種もあるので、実りのピークを迎えるこの季節、ぜひ食べ比べてみてください。

冷涼な気候で甘さを増す「冬春いちご」



八戸苺生産組合 木村 政美(きむら・まさみ)さん

県南地域は、冬場でも晴れの日が多く日照時間が長いことから11月～5月にかけて収穫される「冬春いちご」の栽培が盛んです。私が作っているのは「とちおとめ」という品種。大粒で酸味が少なく、冷涼な気候の中、時間をかけてじっくり色づくため、甘みがより強いのです。毎年8月から小苗をポットで栽培、この時の苗の良し悪しでいちごの味が決まるので、苗作りには特に気を遣います。

## いちごのフルーツサンドと いちごのサラダ



【一人分のエネルギーと塩分：いちごのフルーツサンド 273kcal・0.9g／いちごのサラダ 93kcal・0.5g】

### 「いちごのフルーツサンドの材料(4人分)と作り方」

- サンドイッチ用パン 8枚  
いちご……………200g  
豆腐のフレッシュソース  
木綿豆腐……………1/2丁  
マスカルポーネ 50g  
A 牛乳……………大2  
砂糖……………大2  
セルフィーユ……………適宜  
ラディッシュ……………10g
- いちごは洗ってヘタを取り、2等分に切る。
  - 木綿豆腐は、熱湯の中に手でくずしながら入れ、一煮立ちしたらザルに取り、軽く重石をして水気を切る。
  - フードプロセッサーに②とAを加え、なめらかになるまでミキシングし、ソースを作る。
  - サンドイッチ用のパン1枚の片面に③のソースを塗り、その上にいちご約2個分を敷き詰め、同じように残りのパン3枚をいちごをはさみながら積み重ねる。
  - 積み重ねた④の上と側面にも残りのソースを塗り、上にいちごとセルフィーユ、薄切りにしたラディッシュを飾る。

### 「いちごのサラダの材料(4人分)と作り方」

- いちご……………12個  
水菜……………60g  
新たまねぎ……………30g  
スナップエンドウ 30g  
ドレッシング  
いちご……………40g  
サラダ油……………大2  
酢……………大2  
塩……………小1/3  
こしょう……………少々
- いちごは洗い、ヘタをとる。
  - 水菜はザク切り、新たまねぎはうす切りにして流水で洗う。
  - スナップエンドウは、すじをとって、塩ゆでに。
  - ドレッシング用のいちごは洗ってヘタを取り、みじん切りにして、⑥と合わせるだけ。
  - 器にドレッシングを大きい丸を描くように敷き、上に①②③を盛りつけて完成。

### るみ子先生のワンポイントアドバイス

サンドイッチは、豆腐のソースだからとってもヘルシー。サンドイッチもサラダドレッシングもシンプルな味付けで、いちごの色や甘みと酸味を際立たせました。

レシピ開発・調理／管理栄養士 福土るみ子



# 私が出会った 青森のイッピン

vol. 6 エプソンアトミックス株式会社

## 世界に誇る「金属粉末」

今回訪れたのは、八戸市内にあるエプソンアトミックス社。この「金属粉末」を製造する技術がかなり優れているらしい。いったい「金属粉末」とは具体的に何に活用されているものなのだろうか？と思いつつ、事業管理部の白鳥達也さんに案内していただいた。詳しく説明を聞けば聞くほど、日常生活で普通に使っているあらゆるものの原料になっているものが、この金属粉末であるということに驚いた。そして、こんなものすごいものを作っている会社が青森にあるんだと、ただただ感心した。



エプソンアトミックス 北インター事業所



青森県出身の女性社員も活躍中



事業管理部 課長 白鳥達也さん(青森県出身)

本誌題字タイトル／「青森きらりイッピン」ロゴタイトル



書家  
菊池 錦子 KINKO KIKUCHI  
【プロフィール】  
青森県弘前市出身  
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影／「青森きらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン  
能登 直 Sunao Noto  
【プロフィール】  
1999年3月神奈川大学外国語学部 卒業。  
その後、仙台のスタジオでアシスタントを経て、2005年に独立し a presto として活動中。モデルを中心とした人物や広告、スポーツの撮影を行っている。公益社団法人日本広告写真家協会正会員・国際スポーツプレス協会会員・一般社団法人 日本スポーツプレス協会会員

「青森きらりイッピン」動画コンテンツを配信しています。

青森が誇る「ヒト」、「モノ」、「コト」を紹介する動画コンテンツ「青森きらりイッピン」を、YouTube、Facebookで配信しています。スマートフォン、パソコンで「青森きらりイッピン」を検索してご覧ください。「青森きらりイッピン」の紹介ホームページはこちら [http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/tv/int\\_kirari.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/tv/int_kirari.html)



期間  
限定

# 青森空港増便のお知らせ

東京線1日6往復→8往復、大阪線6往復→7往復



5月11日(木)から7月4日(火)まで、三沢空港の滑走路補修工事に伴い、青森空港発着便が一部増便となります。

期間中は、青森-東京(羽田)線(JAL)が一日6往復から8往復、青森-大阪(伊丹)線(JAL・ANA)が一日6往復から7往復となり、ご旅行やビジネスにますます便利となりますので、早くて快適な飛行機をぜひご利用ください。

併せて、三沢駅-青森空港間の連絡タクシーを1日2往復運行します。詳しくは、県庁ホームページ(下記URL)をご覧ください。

◎三沢駅-青森空港間シャトル便運行のお知らせ  
URL [http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/traffic/aomori-misawa\\_shuttle.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/traffic/aomori-misawa_shuttle.html)

◎増便期間 / 5月11日(木)~7月4日(火)

◎運航ダイヤ / 右記をご覧ください

※運航ダイヤは、予告なく変更される場合がありますので、ご利用の際は、各航空会社のホームページをご確認ください。

詳しくは、[青森県の航空](#)

交通政策課 ☎017-734-9153

## ■青森⇄東京(羽田)線 / 東京へ約80分

青森⇒東京(羽田)				東京(羽田)⇒青森			
便名	青森発	東京着	備考	便名	東京発	青森着	備考
JAL 140	07:35	08:55		JAL 141	07:40	08:55	
JAL 142	09:55	11:15		JAL 143	09:55	11:10	
JAL 144	11:55	13:15		JAL 145	13:20	14:35	
JAL 146	15:15	16:35		JAL 3985	13:55	15:10	増便
JAL 3984	15:40	17:00	増便	JAL 147	15:05	16:20	
JAL 148	17:00	18:20		JAL 3987	16:55	18:10	増便
JAL 3986	18:55	20:15	増便	JAL 149	18:30	19:45	
JAL 150	20:25	21:45		JAL 151	19:55	21:10	

## ■青森⇄大阪(伊丹)線 / 大阪へ約100分

青森⇒大阪(伊丹)				大阪(伊丹)⇒青森			
便名	青森発	大阪着	備考	便名	大阪発	青森着	備考
ANA 1852	08:05	09:55		JAL 2151	07:55	09:25	
JAL 2152	10:05	11:40		ANA 1851	08:45	10:25	
ANA 1854	13:15	15:05		JAL 2153	11:40	13:10	
JAL 3964	14:15	15:50	増便	ANA 1853	11:55	13:35	
JAL 2154	14:50	16:25		JAL 3963	12:15	13:45	増便
ANA 1856	17:05	18:55		JAL 2157	16:15	17:45	
JAL 2158	18:20	19:55		ANA 1855	18:20	20:00	

# 「あおもり立志挑戦塾」第10期生を募集します

～人生の使命に気づく場に来たれ!～

## あおもり立志挑戦塾とは?

志と人間力を持った人財は地域にとって最高の宝。  
「あおもり立志挑戦塾」は、地域経済や地域づくりを牽引していく人財の育成とネットワークづくりを目的に開催しており、これまでの9年間で206名が修了しています。  
塾では、塾長や多彩な講師陣による講演、グループディスカッション等を通じ、地域のために自分たちは何ができるのか、自分の人生の志は何かなど、時間をかけて深く掘り下げています。県内各地から集まる同世代の仲間たちと交流しながら、自分を見つめ直し、成長するチャンスです。  
Let's Change & Challenge!!



塾長 天明 茂 氏

詳しくは、[あおもり立志挑戦塾](#)

地域活力振興課 ☎017-734-9133

日程など	5月から年6回 土・日の1泊2日 青森市内ほか
内容	塾長・講師の講話や同世代の仲間と人生の志を考え地域の将来を議論します。異業種の仲間ができます。
募集塾生	20代~30代の社会人 30名
募集期間	現在募集中 5月2日(火)まで



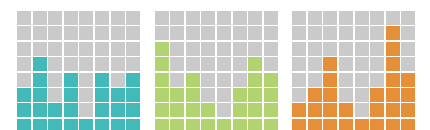
昨年度の塾風景

## 県職員からのお知らせコーナー | 統計分析課 藤本 諭

# 統計調査にご協力を

平成29年度に実施する  
主な統計調査のご紹介

統計は、青森県の姿を映す鏡であり、県民の生活を支えるさまざまな行政施策の基礎資料として、とても大切なものです。青森県の未来を支える正確な統計を作るため、統計調査員が事業所や皆さんのご自宅を伺って調査をお願いしています。平成29年度に実施される主な統計調査は下表のとおりです。調査員が伺った際には、ご協力をお願いします。調査員は身分証明書を携帯しており、統計法で定める守秘義務が課せられています。



調査名	調査内容	調査名	調査内容
労働力調査	男女・年齢別の就業・不就業の実態を明らかにするため、毎月行われている調査	生産動態統計調査 青森県工業動態統計調査	鉱工業生産の動態を明らかにし、鉱工業に関する施策の基礎資料を得るため、毎月行われている調査
小売物価統計調査	商品の小売価格、サービス料金、家賃などの物価を明らかにするため、毎月行われている調査	商業動態統計調査	商業を営む事業所等の事業活動の実態を明らかにし、景気の動向判断及び経済政策の基礎資料を得るため、毎月行われている調査
家計調査	世帯の収入・支出など家計収支の実態を明らかにするため、毎月行われている調査	毎月勤労統計調査	雇用、給与及び労働時間について、各産業別の変動を明らかにし、雇用労働政策の基礎資料とするため、毎月行われている調査
個人企業経済調査	個人経営の事業所の経営の実態を明らかにし、個人企業に関する基礎資料を得るため、四半期ごとに行われている調査	学校基本調査	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにするため、毎年行われている調査
就業構造基本調査	就業・不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造や就業異動の実態、就業に関する希望などについての基礎資料を得るため、5年に1度行われている調査	学校保健統計調査	学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにするため、毎年行われている調査
工業統計調査	製造業(工業)の実態を明らかにするため、毎年行われている調査		

※これらの他にも、国が指定する重要な統計調査が行われています。

詳しくは、県庁HP   統計分析課 ☎017-734-9164~9169

申吾の(ほっと)コラム



## あおもり観光の元気をつくる

青森県知事 三村 申吾

2月の話で恐縮だが、我が青森空港に1日で、大韓航空、タイ国際航空、香港のキャセイドラゴン航空、中国の奥凱航空の4機の航空機が次々と舞い降りた。

出迎えにあたった関係自治体・団体、そして我がインバウンド担当チームは、本当に大きな達成感と共に、感慨ひとしおの事だったと思う。

思い起こせば平成16年。苦しいときは得意分野を伸ばそう、との思いでスタートさせたのが“攻めの農林水産業”である。

総合販売戦略課を創設。販売を徹底重視する一方で、将来のために「水」・「土」・「人」の基盤整備を着実に進めてきた。県自らが、我々の食と命と文化のゆりかごである農山漁村集落に経済を集めることに全力で頑張った。

平成22年の量販店販売300億円突破を好機として、成長著しいアジア市場への攻めを担い、かつ国内外の観光誘客に本腰を入れようと、平成23年度にスタートさせたのが『観光国際戦略局』であった。

以来、チームワークよろしく、数千の観光コンテンツをアイデアあふれる旅

行商品に造成しては営業に走り回り、国内外のプロをうならせた。

誘客現場においては、立体観光(陸・海・空路を駆使した周遊観光)という新しいロジを確立し、青森空港だけに固執せず、函館も千歳も仙台も我が(イン・アウトの)空港という、お客様目線に立った旅行スタイルも提案した。海外の高校生等の農家民泊などグリーンツーリズムも好調だ。

国際誘客の実績は、平成22年、5.9万人の外国人宿泊者数が平成28年には14.5万人となり、伸び率246%は東北各県のほぼ2~3倍となっている。

この数字を支えた我がチームの隠れた努力(海外分)をお示ししよう。例えば、平成28年度の県による海外旅行会社等の訪問件数190件。県が主催・参加した商談会・セミナー18回。海外からの各種ファムツアー等招請者361名。(このあふれる覇気には感嘆だ)

さあ、新年度予算と共に、各分野とも意気込み新たな攻めの営業が始まる。

我がチームの熱意に応えるべく、自分もファイトだ!

## AOMORI information

あおもりインフォメーション

### 青森県交通事故相談所をご利用ください!

交通事故でお困りの方、専門の相談員が無料で相談をお受けしています。

場 所	青森県庁北棟7階
相談電話番号	017-734-9235
相 談 日	月～金曜日(祝祭日・年末年始を除く)
相 談 時 間	8:30～17:15

◎個人の秘密は厳守します。

◎面接相談のほか、電話での相談も受け付けています。

◎弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市、むつ市で移動相談も実施しています。まずはお電話をください。

詳しくは [青森県交通事故相談所](#) [Q検索](#) 県民生活文化課 ☎017-734-9232

### 山火事にご注意を! ~火の用心 森から聞こえる ありがとう~

4月10日から6月10日までは「山火事防止運動強調期間」です。春は、野山が乾燥して山火事が発生しやすく、県内では、4月から5月にかけて最も多くなります。その原因の多くは、たき火やタバコの不始末などちょっとした不注意によるものです。春の暖かさが増し、農作業や山菜採りなど山林やその周辺への出入りが多くなります。私たち一人ひとりが注意して山火事を防ぎ、大切な森林を未来に引き継ぎましょう。

林政課 ☎017-734-9513

### 免許更新に必要な『高齢者講習』等が新しくなりました

本年3月12日から高齢者講習の内容が、合理化・高度化され、講習時間や講習料金が新しくなりました。

特に、75歳以上の方は、これまで同一日に行われていた認知機能検査と高齢者講習が別日実施となりますので、お早めの予約をお願いします。なお、対象となる方には、同講習の詳細が書かれた通知書が送付されますが、ご不明な点については、県警察本部運転免許講習係までお問い合わせください。

警察本部運転免許課 ☎017-782-0081

### 耕作しない農地は、農地中間管理機構にお貸しください!

農地中間管理機構(公益社団法人あおもり農林業支援センター)では、農地を借り受け、規模拡大をめざす担い手農家に貸し付けしています。



- 主なメリット**
- ①所有農地を全て貸し付けた場合、固定資産税の半減措置があります。
  - ②貸付期間が終了すれば、農地は返ってきます。(更新も可能)
  - ③要件を満たせば「機構集積協力金」が交付されます。

詳しくは、県庁HP [農地中間管理機構](#) [Q検索](#) 構造政策課 ☎017-734-9462

**みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション**

<b>テレビ</b> ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00~17:15 (放送週が変更になることがあります) ■ATV[みんなの県庁!](土)16:55~17:00 ■ABA[メッセージ](土)9:30~9:35	<b>ラジオ</b> ■RAB[青森県広報タイム](月)~(木)7:30~7:35 ■エフエム青森[あおもり・ふあん](月)~(金)16:55~17:00 ■エフエム青森[申吾のほっとチャンネル](第一日曜日)7:00~7:30	<b>新聞</b> ■「広報あおもりけん」毎月1日・16日 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報
--	---	--

■青森県広報広聴課公式Facebook (<https://www.facebook.com/AomoriPref.koho>) ■青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref) ■青森県広報広聴課Twitterアカウント(@aomorist)

編集発行/青森県広報広聴課 ☎017-734-9137 〒030-8570 青森市長島1-1-1/県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.2円です。

県民だよりあおもりの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県HP [グリーン電力証書](#) [Q検索](#)